



8/20

行き交う人も驚きの声

神林地区関係人口創出事業実行委員会が巨大カボチャを展示（道の駅神林）

神林地域の関係人口創出・拡大事業の一環として関係各所に栽培をお願いしていたハロウィンカボチャ。その一部を収穫して道の駅神林に展示しています。

このハロウィンカボチャは神林地域の南大平集落で収穫され、一番大きなもので54kgにもなる巨大なものや、手乗りサイズの可愛いものまでさまざま。道の駅の利用者からは「こんな大きなカボチャどうやって育てたの?」「ヒャ～すんげ～」と驚きの声が上がっていました。

収穫されたカボチャは、今後神林地域の各所で行われるイベントで「ハロウィンお化けカボチャ」に変わり、皆さんにお披露目されます。



▲ハロウィンにはお化けカボチャに変身

8/22

頼れるお父さんたちが活躍

生徒と保護者による階段補修作業とグラウンドの除草作業（山北中学校）



▲階段の枠内に土を入れて固定

体育祭を前に、山北中学校で夏休みを利用し生徒と保護者によるグラウンドの除草作業とグラウンドに出入りする階段の補修作業が行われました。

除草作業は親子で共に汗を流し、階段補修は頼れるお父さんたちの力で行いました。この補修作業は今後の学校生活を安全に、快適に過ごしてもらいたいというPTAの発案により実施されたもので、長期間設置され腐食が進んでいた階段は、きれいで安心して使える階段へと生まれ変わりました。

参加者は「階段の補修作業は暑さも予想より大変だったが、子どもたちのために頑張りました」と笑顔で話してくれました。

9/10

長年の消防団活動への深い理解と協力が表彰される

令和3年度新潟県消防団協力事業所等表彰（市消防本部）



県は、消防団活動への深い理解や協力により地域防災力の向上に貢献している事業所を表彰する「消防団協力事業所等表彰」に7事業所を選出し、市内では株式会社都市環境緑化が表彰を受けました。表彰式は例年、新潟県消防大会において行われていたが、コロナ禍から大会が中止となり、県から依頼を受けた市消防長より表彰状が手渡されました。

表彰を受けた小田代表取締役は「現在、従業員7人ほどが消防団に在籍しており、新採用職員にも加入を促している。社内規定で消防団活動を優先し、業務を配慮しており、今後もより一層、消防団活動に協力していきたい」と話してくれました。



▲より一層の貢献を決意した小田代表取締役

9/13

SDGsを地域でアクション!

荒川チャレンジ企画プレゼン発表会（荒川中学校）



▲地域の課題を自分ごとに発表

荒川中学校3年生は、総合的な学習の一環として、SDGsの観点から「持続可能な地域づくり」や「社会課題解決」を図ろうとさまざまな企画を考案しました。

この日は、地域の事業者や団体の皆さんを荒川中学校にお招きし、荒川地域の魅力的な地域資源に光を当て、地域の皆さんと共にアクションを起こしたいと気持ちのこもったプレゼンテーションを行いました。

荒川地域の小さな産官学の連携がここに生まれ、地域の明るい未来を創出するために動き出しました。この活動をとおり、地域にチャレンジの輪が連鎖して広がることを期待しています。